



ふ れ あ い
市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

大都市の若者が集まる神山町

前回ご紹介した上勝町が、シニアを中心とする地元住民の力を最大限に発揮するモデルとすれば、今回話題にする神山町は、都会から移住して来る若者の力を活かしたまちおこしのモデルと言えます。

山をひとつ隔てた隣町が、こうした好対照をなしているのも興味深く感じます。

神山町は、2010年頃から、三大都市圏の、IT産業に関わる若者たちの移住が進み、にわかには知られるようになりました。

移住の背景として、山里の豊かな自然と光ファイバー網によるIT環境の強みがあげられます。

しかし、そうした条件を満たす地域が多数ある中で、なぜ神山町に突出して人が集まるのか不思議です。

歴史を辿れば、現在若者移住やまちおこしの中核となっているNPOグリーンバレーの原点は、日米友好の印に全米の家族から贈られ、戦災を逃れて残っていた人形の里帰りを企画・実行した委員会だそうです。

その委員会が神山国際交流協会に発展し、子どもたちに異文化と触れ合う機会を提供するため、内外の芸術家を招いて作品づくりを支援する事業を始めます。

それを機に移住者も出始め、移住への関心が高いことを知ります。



▲徳島県による神山町でのテレワークの実験

しかし、地元には仕事がないと移住できないということで、移住者の提案で、空き家などの紹介とともに、神山町でできそうな仕事を地元から提案し、人材を誘致する事業につながって行きます。

こうして、呼び込む側と、迎え入れられた若者たちが共同でプロジェクトを興し、それぞれの人脈も活用しながら移住を促進していくという好循環につながって行きました。こうした地道な積み重ねがあって、今があるということであり、天与の条件だけで自然発生したものではないということがわかります。

南あわじ市でも、少しずつですが、移住される方が増えています。地元と移住者たちが知恵を出し合えば、神山町のような好循環を起こすことは十分可能だと思います。

また、私は、遠隔地での仕事を支えているIT技術、ことにテレワークには、大きな可能性を感じます。

神山町のように、大都市の企業のサテライト(支部)を誘致できることはもちろんですが、育児や介護で自宅を離れられない人も仕事ができ、働く人のすそ野を拡大することができます。また、複数地域に分散して市役所のサテライトを置くことで、住民サービスの拡大にもつながります。研究すべき課題と考えています。

高齢者叙勲 **旭日単光章**

本田 和郎さん(沼島)

本田さんは、昭和58年7月から平成7年7月までの12年の長きにわたり旧南淡町の議会議員として町の発展に尽力されました。

特に任期中、文教厚生常任委員長を務め、学校教育の充実を図るなど、住民の快適で文化的な生活の確立に多大なる貢献をされました。



今年度100歳を迎える納さんと守本市長

いつまでも長生きしてね！
市長が百歳祝福訪問

今年度、市内で17人(男性2人、女性15人)が100歳を迎えます。これをお祝いするため、9月1日、希望者宅を守本市長が訪問しました。

「これからも長寿を重ねてください」と守本市長からお祝い状が贈られると、納探さん(広田)は「感無量です」と嬉しそうに返っていました。

淡路島・南海島(韓国)の中学生がサッカー交流

平成21年度に始まった淡路島3市の中学生と韓国慶尚南道南海郡の中学生とのサッカー交流は今年で9度目になります。隔年で相互派遣を行っており、今年8月18～20日の2泊3日で淡路島を訪れました。

五色台運動公園「アスバ五色」で行われた両国の中学生たちによるサッカー大会は、それぞれの選手が真剣勝負の試合をしました。

2試合が行われ、第1試合は4対1、第2試合は2対0で淡路選抜チームが勝ちました。

スポーツ以外の交流も行われ、お互いの国の文化や伝統を学ぶなど、活発な友好が図られました。



講演会で自らの体験を話す清水さん

「人権文化」の定着をめざして
じんけんサマーフェスティバル開催

8月は「人権文化をすすめる県民運動」推進強調月間です。強調月間にあわせて、市内でも8月20日、中央公民館でじんけんサマーフェスティバル2017を開催しました。

このイベントは、私たち一人ひとりが日常の中でお互いの人権尊重が自然に態度や行動として表せる「人権文化」の定着をめざして、

毎年開催しています。会場では募金活動や人権擁護委員による相談のほか、子どもから大人まで楽しめる催しや販売等のイベントが行われました。また大ホールでは、一般社団法人日本LGBT協会代表理事の清水展人さんによる自らの体験を基にした講演会を行い、性的マイノリティ(少数派)について理解を深めました。



熱戦を繰り広げる両国の中学生たち

第2回学園祭を開催

今年もキャンパス内を会場に、イベント盛りだくさんの学園祭「第2回くにうみ祭」を開催いたします。皆様のご来場をお待ちしております。

日時 11月11日(土) 午前10時～午後4時

内容 ステージイベント＝三原志知和太鼓クラブ志童や西淡中学校吹奏楽部、学内軽音部による演奏。創作料理コンテスト、野菜の目利き、景品が当たる校内クイズラリーなど。中庭＝サーターアンダギー・唐揚げ・焼きそばなどの学生による模擬出店。講義室＝チャリティーバザー、写真コンテスト、カフェなど。

同大事務室 ☎ 42-4700

地域創成生涯学習講座(要申込)

「健康・福祉」をテーマに、本学教員による講座を開催しますので、お気軽に参加ください。

- ・ムセを予防していつまでも元気であるために
～理学療法士からみた誤嚥性肺炎の予防～
日時：10月20日(金) 午後2時～3時30分
- ・脳卒中後の麻痺手に対するリハビリテーション
日時：10月26日(木) 午後2時～3時30分
- ・認知症のひとの理解と対応
日時：11月 4日(土) 午後2時～3時30分

※会場はすべて同大キャンパス内の講義室等

申込み・問合せ 同大地域連携センター ☎ 42-4708

